

勉強の仕方の基本となる「学習の3段階」について

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も開倫塾の時間をお聴き頂きありがとうございます。京は勉強の仕方の基本となる「学習の3段階」についてお話いたします。3つの段階が勉強にはあります。最初の段階は「理解」です。理解とは新しい事等を勉強した時、「うん、なるほど。」と腑に落ちることです。「うん、なるほど。」と分かることですね。これがれかいです。「うん、なるほど。」と分かるのはどんな時かと言えば一番よいのは学校です。先生のお話を聴いて「うん、なるほど。」と心から分かるのが一番よいと思います。自分で勉強する時は本やテキストを読み「うん、なるほど。」と分かるのが理解です。この時は辞書や百科事典、参考書などを用いるのがよいですね。このようにして「うん、なるほど。」と理解するのが最初の段階です。ただ、最初の段階で「うん、なるほど。」と分かってても人間とは悲しいものでほとんどの人は、あっという間に忘れてしまいます。そこで、次の段階で2番目は「定着」です。「うん、なるほど。」と分かったことを「定着」させる段階があります。どのような状況かといいますと3つあります。1つ目は「うん、なるほど。」と理解したことを、スラスラ口をついて正確に言える。2つ目は理解したことを楷書で理解したことを楷書で正確に書ける。楷書とは「きへん」に「みな」と書きます。3つ目は例えば、 2×3 の意味が「うん、なるほど。」と分かったら、その答えの6が 2×3 を観てパッと出てくる。つまり簡単な問題であれば、問題を見た瞬間に答えが出でくる。これが定着の3つ目です。では、これをどのように行えばよいかですが、学校の授業中にこれを行う時間は忙しくてありません。ですから、家など学校の授業時間以外で行うしかありません。私はこの定着のために使う時間を「定着のための作業時間」と言いますが、「定着のための作業」をするためには学校の授業以外の時間が必要であるというのを、是非、ご理解いただきたいと思います。そして「定着のための作業時間」をどのように取るかですが、図書館へ行く、放課後や休み時間を使う、家でする等、定着のための作業時間をどのようにとるかを工夫していただきたいと思います。

最後は「応用」です。応用とはこれから自分が受ける試験で合格点が取れることです。もう1つは社会に出て生活で役立てられるということです。例えば、国民主権という意味が分かったら国民主権の国民として投票に行く。これもそうです。社会に出てから理解・定着(国民主権者としての国民の権力・公使しながら投票行動に出る)したことを役立てる。これが応用です。この応用の試験で合格

点を取るやり方は過去5年間の問題をゆっくりやってみて、できなかった問題を繰り返し、繰り返し行い、分析をして、理解が不十分なのか、定着が不十分なのか、応用ができないのか、できなかった理由を考えていただく。そして、理解が不十分であれば、学校の先生に聞いてみる。参考書を読み直してみる。定着が不十分の場合は、書く練習をする。もう1度覚えなおすなどの工夫をして行う。そうすれば素晴らしい点が取れると思います。是非、学習には3段階「理解」「定着」「応用」とあり、分けて考えていただくと学習効果が上がると思います。今日は「理解」「定着」「応用」についてお話しました。「理解」は学校でまた自分で。「定着」には時間がかかりますので学校以外の場所、図書館や家、少しの待ち時間など、細かい時間も使って定着を図って下さい。「応用」は合格点を取るためには過去5年間ぐらいの問題をやって、間違った問題についてなぜ間違ったのか、理解が足りないのか、定着が足りないのか、応用が足りないのか分析してみる。最後に一番大切なのは、社会に出て役に立つことですから、社会に出て一生役に立つ知識を身に付けることです。

最後に今、交通安全週間が始まりましたので、是非、車を運転している方は追突をしない様に車間距離を十分とっていただきたいと思います。また、非常によい季節となりましたので、栃木県内の素晴らしい観光地を日帰りでもけっこうですから訪ねて楽しんでいただいて、栃木県の温泉地の再生にご協力いただきたいと思います。